



YUSHIKYA だより

VOL.

1

～学びの継続・だれでも意見・

強みを生かして、輝こう！～

R8.4.7

どんな研修にしたいですか？



みんなの困り・悩みが解消できる。

たくさんの実践を共有できる。

何でも言える雰囲気

良い雰囲気のできる

みんなで協力・助け合い

授業づくり・得た物を共有できる。

下小の今の課題

経験不足でも言える雰囲気

学力向上の具体的手立て

積極的に発信、キャッチ

業務でいっぱいだった。

研修のときだけしか集まらない。

そのために

相手の考えを否定しない。→肯定・共感

研修だけでなく、日頃の関係作り。

前向きな取組み。

自分と相手のよさを知る→普段からコミュニケーション

相互参観→たくさんの実践を共有

学習者主体の授業をめざして 手立て

目指す子供の姿



自ら問いを発見できる児童。

学びに向かう児童。

自己選択、自己解決できる児童。

(一人で、友達と、先生と、絵、タブレットで等)

自分の言葉で伝えられる。

意図を持って主体的に課題的に取り組む姿

協働してものや考えをつくりだす姿

自ら学ぶ力を身につける。

試行錯誤するべきポイントが分かる

全員参加の授業



- ・課題から、めあてを子供の言葉から作る。
- ・生活と関係させて、問いをもってくる。
- ・授業の流れをパターン化する。
- ・学習方法を提示する。
- ・時間を考えさせる。
- ・学習計画を児童の思いを入れながらたてる
- ・全体のめあて、個人のめあてをたてる
- ・振り返りの視点をしっかりと最初から教える
- ・教師は任せる・見守る姿勢
- ・グループ学習の進め方話型が必要→児童の思いで変えていくのはあり。
- ・基本的な学習の流れを身に付けさせ、めあての焦点化からまとめまでを児童が自分（たち）で行わせる。
- ・一言ずつ発表させる時間を確保する。
- ・問い→正解と思わせないような発問
- ・問い→自分の意見が言えればはなまる！

感想

第1回の研修お疲れ様でした。いかがだったでしょうか？担当としての感想は、「話し合いの雰囲気がとっても素敵でした」特に、全員が肯定的に話を聞いていたところや全員が話をしていたところです。

この雰囲気を大切に、今後も、日常的に取り組んでいくと、下小の同僚性アップに加え、さらに、力が付いていくのではないかと感じています。

次回に向けて やってみよう

- 一人1授業をいつするか？
- どんなことを1年深めたいか？
→個人のゴールを立ててみよう！
- どんなことをみんなで考えてみたいですか？